

③西部地域の景観特性と景観資源

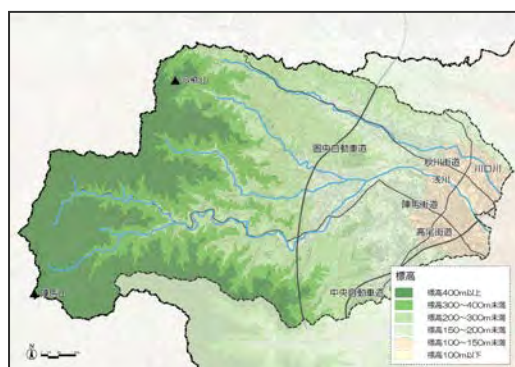


図 西部地域の区域及び地形

ア) 地域の景観の現況と特性

本地域は、中央地域から連なる平坦な市街地と陣馬山や今熊山等の広大な森林に覆われた山地、その間の丘陵地で構成されています。

童謡『夕やけ小やけ』のモデルとなった恩方の集落や、八王子城跡等の歴史的資源、秋川街道や陣馬街道、高尾街道の沿道のまち並み、平坦地に広がる住宅地、山間から市街地へ流れる北浅川や川口川等の潤いある水辺等が、地域の景観を特徴づけています。

近年は、街道沿いに商業施設が立地し、誘目性の高い色彩の建物や、屋外広告物が目立つようになって景観が変化しつつあり、沿道のまち並みへの景観的な配慮が求められます。

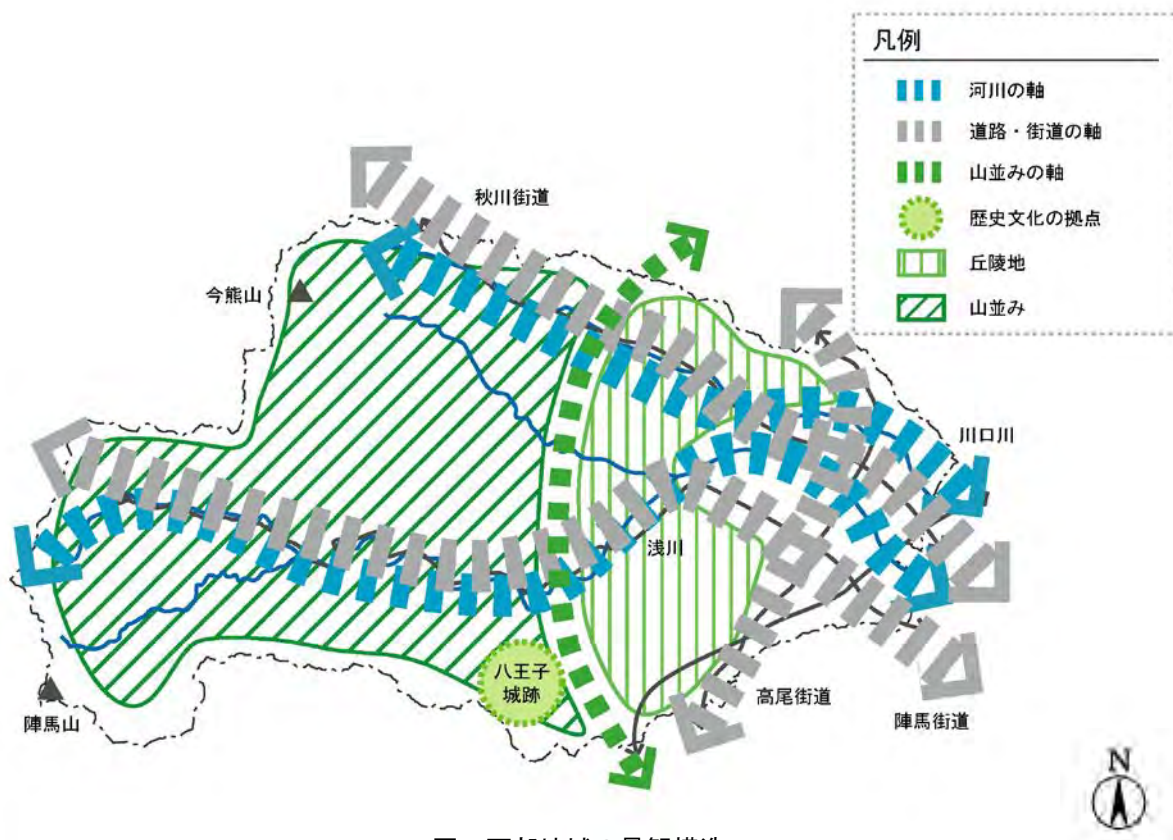


図 西部地域の景観構造



陣馬山方面の眺め

山並み・丘陵地への眺望

地域の東側にある平坦な市街地から、丘陵地、山地へと西に向かって標高が高くなる地形となっており、西方向に山並みや丘陵地を望む眺望がこの地域の景観を特徴づけています。美しい夕やけと山並みのシルエットを眺めることができます。



自然に囲まれた上恩方町の集落

豊かな自然環境

丘陵地の豊かな緑に囲まれた集落の落ち着いた景観と、山間から北浅川が流れる潤いのある景観が見られます。童謡「夕やけ小やけ」の歌詞に詠われている里山と集落が織りなす景観は、本市の原風景ともいえる心象景観の代表です。



上恩方町を流れる浅川

八王子城跡

豊かな自然環境に囲まれた貴重な歴史的資源である八王子城跡は、地域のシンボルとして景観づくりの上でも重要な資源となっています。



八王子城跡

暮らしの場としての街道

陣馬街道、秋川街道、高尾街道は地域住民の暮らしの場であり、沿道の景観は日常的に目にするものです。まち並みの背景となる丘陵地の緑を意識した、落ち着いた感じられる景観づくりが求められます。



秋川街道

西部地域の景観資源

